

行動実績報告書(自己PR書)

別紙2

区分試験		受験番号	1001	氏名	宮崎 太郎	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">記入例</div>
	I 取組課題、テーマ、最終的な成果					II 取組みの過程で「特に工夫した点」あるいは「苦労した点」
番号	最近1～3年の間で、部活動やアルバイト、あるいはその他の諸活動(友人関係や自分自身のみの行動など)において、あなたが特に力を入れて取り組んだことの中で、自分で成果が上がったと思われる取組みはどのようなものですか。その取組事例についてお書きください。				左記の取組みの中で、「何か特に工夫した点」、「新たに独自の工夫を加えた点」あるいは「なかなかうまくいわずに苦労したがそれを克服したこと」などがありましたか。具体的なエピソードがあればそれについてお書きください。(内容は些細なことでも構いません。)	
1	大学のテニス部の主将として、後輩の指導育成に全力を挙げて取り組み、その結果、昨年の九州大会で、これまでの成績を大きく上回り、優勝することができたこと。				エースとして期待していた2年生の部員が理由もなく急に練習に出てこなくなってしまったので、彼が再び練習に参加するように工夫した。	
2	卓球サークルの副部長として、サークルをまとめることに力を入れて取り組み、その結果、昨年の夏の団体戦で準優勝することができたこと。				やる気が全く感じられない後輩がいたので、その後輩のやる気を引き出すことに苦労したが、自分が率先して練習に取り組むことで、後輩のやる気を引き出した。	
3	アルバイトで家庭教師をしていたとき、教えていた生徒が、どのようにしたら成績が上がり、志望校に合格できるかを考えて指導し、結果的には、何とか志望校に合格させることができたこと。				生徒によって、得意科目、苦手科目が異なるので、その生徒が苦手な科目を重点的に指導したり模擬試験前や期末試験前は、苦手克服を課題として教えるなど、その生徒にあった教え方をする工夫を行った。	
	(注) 取組事例は3つまでとなります。					